

# 医学研究実施に関するお知らせ

金沢医科大学病院

医療技術部 診療放射線技術部門 長田 弘二

私たちは「肝臓 Dynamic CT 検査における造影剤濃度が造影効果に及ぼす影響についての検討～低管電圧 80 kV 撮影を用いて～」という医学研究を倫理審査委員会の承認、病院長の許可のもと、実施しています。研究概要は以下のとおりです。

**研究課題名** 肝臓 Dynamic CT 検査における造影剤濃度が造影効果に及ぼす影響についての検討

～低管電圧 80 kV 撮影を用いて～

## 研究の意義・目的

日本で発刊されている肝臓造影CT検査におけるガイドラインでは低管電圧80kV撮影における指標となる至適造影剤量は定められていない。しかし、先行論文（英語論文）などでは体重当たりの使用容量は400～420mgIとも報告もされている。しかし、これらの報告では、造影剤濃度の違いにおける肝臓の造影効果は報告されていない。また、最新CT装置において、より良い画質での報告はされていない。（当院最新CT装置では、論文等で使用されているCT装置に比べ、画像の劣化は限りなく少ない。）よって、低管電圧撮影を用いた場合の正確なデータの取得が可能と考える。そこで今回は、過去のデータから造影剤濃度および造影剤注入量の違いにおける肝臓造影効果、肝臓腫瘍における描出効果を検討することを目的とし、低管電圧80kV撮影における至適造影剤濃度を証明したい。

## 研究の対象者・研究期間

本研究では、ランダムにのべ1000名ほどに参加していただく予定です。

調査期間・対象者：2023年4月1日以前に、当病院、一般消化器外科、肝胆膵内科で腹部造影CT検査を行った、20歳以上の患者さんと、以前に行われた「H210 転移性肝腫瘍・その他の腫瘍における80kV撮影を用いた造影CT検査の至適用量の検討（造影方法等の違いについて）」に参加された方が対象となります。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月31日まで

研究開始時期：2023年5月上旬以降（倫理審査委員会承認後）

## 研究の方法・研究に用いる試料・情報の種類

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

過去のCT画像データにより、上記期間中に得られ情報を本研究のために使用させていただきます。

研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

資料：CT画像、年齢、

研究データは研究発表後10年間中央放射線部にて保管され、その後適切な方法にて破棄されます。

## 研究機関

金沢医科大学病院

機関の長：川原 範夫

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話：076-286-3511

## 研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記のまでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## 二次利用について

この研究で集められたデータや試料は将来他の研究などに使われる可能性があります。その場合でも研究について倫理審査委員会の審査を受け、学長等の許可を得た後、使用することをホームページにて告知させていただいたうえで使用させていただきます。金沢医科大学で実施されている研究については、下記のホームページより確認することが出来ます。

実施中の臨床研究 <https://www.kanazawa-med.ac.jp/~tiken/patient/clinical.html>

## お問い合わせ先

金沢医科大学（病院） 中央放射線部 CT 検査室

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話：076-286-2211（病院の場合は、076-286-3511）（内線 37192）

## 研究責任者

金沢医科大学（病院） 中央放射線部 副技師長 長田 弘二

2023年04月11日作成

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

金沢医科大学病院 中央放射線部 CT 検査室

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話：076-286-3511（内線 37192）

まで、2023年6月30日までにご連絡下さい。

## 研究責任者

金沢医科大学病院 中央放射線部 副技師長 長田 弘二